



CLINICALPATH NEWS

Japanese Society for Clinical Pathway
日本クリニカルパス学会

No.
29

発行日
2013年3月1日

in 岡山

第13回 日本クリニカルパス学会学術集会

2012.12.7～8

第13回学術集会 会長、川崎医科大学 眼科学
若宮俊司

平成24年12月7日(金)～8日(土)の2日間にわたり、岡山コンベンションセンターおよび岡山シティミュージアムにおいて第13回日本クリニカルパス学会学術集会を開催させていただきました。

第13回学術集会ではテーマを『実務と学問の融合～企画と運営を通じた学問への誘い～』とさせていただきました。難しいテーマであったにもかかわらず、2,400名近くご参加をいただき、また、最終日の最後のセッションまで、



若宮俊司 先生

いずれの会場でも熱心な議論が行われましたことを感謝いたします。

今大会では新しい取り組みとして、宿題報告、他の学会・団体との共同企画、看護過程のパスへの取込をテーマにしたスイーツセミナー、抄録の形式分類と用語の統一、表彰の範囲拡大などを行いました。海外のパス事情をお願いした宿題報告は学問的にハイレベルな報告をしていただきました。同時通訳を採用したアジア各国との国際交流のセッション、医療の質の科学的アプローチに関するセッション、電子カルテ教育の専門家と行った教育セッション、情報経営の専門家と行った戦略的クリニカルパスのセッションは計画当初の予想をはるかに超える参加者がありました。スイーツセミナーでの取り組みは今後、設立予定の岡山鳥取地域のパス研究会でも継続されること



になっています。パスの中にこうした方向性に対する要求が確実に生まれつつあることを感じました。電子化に関するセッションおよびパスの新しい展開と将来像を探索したセッションは、時代を反映していずれの会場でも溢れんばかりの参加者がありました。新設の座長賞はかなり好評であったと聞いております。

このような新しい取り組みが可能であった背景には、第1回より第12回まで学術集会が着実に発展してきた礎があつてのことであり、これまで学会の発展に尽力されてきた先生方に対する尊敬の念を改めて感じた次第です。そして今大会のプログラムの実現にご協力を頂いた先生方の洞察力と実行力には感動いたしました。学会の将来にとって好ましいと判断される取り組みについては今後も継続されることを願っております。本大会を契機に実務としてのクリニカルパスがより発展していくとともに、クリニカルパス学の確立を祈つてやみません。

平成25年は岩手県立中部病院の北村道彦先生を会長に岩手で学術集会が開催される予定となっております。第14回学術集会はさらに盛会となることをお祈りいたします。



in 岡山

第13回日本クリニカルパス学会 学術集会賞 最優秀賞を受賞して

2012.12.7～8

総合病院国保旭中央病院 クリニカルパス委員会
佐久間幸枝

普段あまりパスに関わりのない、どのようにパスに関わってよいかわからない臨床検査技師の私が昨年、パス学会学術集会に初参加、初発表し優秀演題賞をいただけてしまいました。調子に乗って、もっとパスに関わってみよう！と試行錯誤していたところ、松永先生より私の所属する教育・EBM部会に「院内のパス教育や自己学習にe-learningを活用できないかな？」というアイデアをいただきました。私たち真面目なEBM部会員は、月に一度必ず集まってはいたしましたが、何をしてよいかわからず「なにか仕事が欲しい」といつも言っていました。ですから、渡りに船！ということで教育・EBM部会員全精力を結集し、パスの基礎知識を確認するためのツールとしてAGH path e-learning作成に取り組みました。まず、問題と解説の作成を行いました。各委員が分担して25問を作り、解説は「読めば勉強になる」ことを目指しパス学会用語解説集などで勉強しました。そして医療情報部にお願いすると、すぐにエクセ



ルを用いたシステムが完成しました。その後、パス大会で周知活動（その名も“それいけパスパンマン！パスもミタ”）し、強化月間を設けパス委員の総力を発揮し、半強制状態で全職員を対象に問題に挑戦してもらうよう活動しました。結果700名以上の職員がe-learningに取り組んでくれました。アンケートにも答えていただき、効果の判定や今後の活動を検討することもできました。このような壮大な活動内容を発表するチャンスを私がいただけてしまっているのか、と思っはいましたが、気が付けば教育・EBM部会の長老と化していた私が、当院のパス委員会を代表してこの活動内容を発表させていただくことになりました。というより、こんなにみんなで頑張ったのだからどうにか形として残したいという気持ちが大きかったと思います。結果、自分がいちばんおいしい思いをしたこと、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。でも旭中央病院のパス教育活動が日本中に注目され、認めていただいたその瞬間にあの舞台に立っていたことを本当に感謝しています。思えば、昨年のテーマは「チーム医療」。だから、臨床検査技師の私がやるしかない！と初めてのパス学会に挑戦しました。3月11日の東日本大震災で自宅に大津波が来て、もう仕事を続けられないかもしれないと思っていましたが、病院の（ほとんどの）皆さんは暖かく迎えてくださいました。その時、「自分ができることはできるときにやるんだ！」と強く心に誓い、初の学術集会に参加させていただいたのです。昨年のシンポジウムでは、震災を体験した方々の発言があり、震災の時、自分のことに夢中で、近くで困っている人に対してもっと医療従事者としてできることがあったのではないかと心をつかえを払拭してくれた言葉…「何かできたのではないかと？私は何の役にも立っていなかった…という気持ちがある人は、次にもし同じことがあったらその

時に何かをしてあげればいい。なんにも罪に思うことはない。」に涙がとまりませんでした。本当にパスの人たちは前向きでいい人ばかりで、いつもいろいろなことで助けてもらっています。だから私は「もし来年も学術集会賞があるのならば、最優秀賞が取りたい。そんな人でいたい」（AKBの総選挙2位の人の言葉です）と言っていたのですが、本当にいただけるなんて夢にも思っていませんでした。

最後に旭中央病院の今回の受賞は、2012年12月7日をもって過去形になりました（山中教授の言葉です）。これからもこの受賞に満足することなく、パス委員一同、前を向いて、パス活動をしていきたいと思っています。

【日本クリニカルパス学会 第13回学術集会賞 受賞者】

最優秀賞：

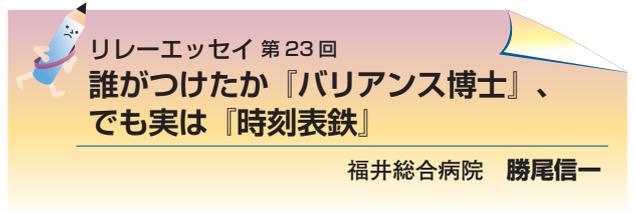
総合病院国保旭中央病院 佐久間幸枝

優秀賞：

総合病院国保旭中央病院 江ヶ崎敏子
 福井赤十字病院 吉田 博之
 済生会熊本病院 井上 英美
 医療法人愛整会 北斗病院 加藤 慎二
 田中内科医院 田中 章慈
 青森県立中央病院 伊藤 淳二

入賞：

高崎総合医療センター 長島 春香
 大阪府済生会吹田病院 明後沙也加
 相模原協同病院 岩崎 和希
 国立病院機構水戸医療センター 小山田 尚
 岸和田徳洲会病院 藤原 裕
 羽島市民病院 後藤 翔太
 福井総合病院 岡山 忠樹
 富山市民病院 加藤美加代
 総合病院国保旭中央病院 伊藤亜紀子
 総合病院国保旭中央病院 新井田明美
 長崎大学病院 浅井健太郎
 羽島市民病院 永田 裕子
 南風病院 鮫島 浩司
 大阪府済生会富田林病院 松田 森
 東京女子医科大学八千代医療センター 高柳 論也

リレーエッセイ 第23回
**誰がつけたか『バリエーション博士』、
 でも実は『時刻表鉄』**
 福井総合病院 勝尾信一

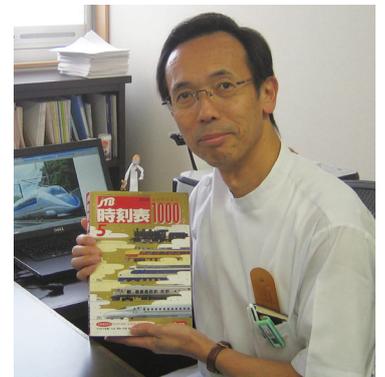
皆さんは鉄道ファン（マニア）の分類の「〇〇鉄（テツ）」というのをどれだけご存じでしょうか？「乗り鉄」や「撮り鉄」は聞いたことのある方も多いと思います。そのほかにも「録り鉄」「車両鉄」「時刻表鉄」「(蒐)集鉄」「音鉄」「模型鉄」「駅弁鉄」「スジ鉄」など数多くありますし、迷惑なものとして「盗り鉄」、変わったものとして「葬式鉄」や「妄想鉄」などもあります。そして、私は「時刻表鉄」です。

「時刻表鉄」は、時刻表を見ているだけで楽しくなります。私が時刻表に興味を持ち始めたのは中学生のころです。初めはどこかへ行くための時刻表でしたが、次第にどこへも行かなくても時刻表を見るようになり、ついには買うようになってしまいました。今では年に3～4冊買っています。時刻表にもこだわりがあり、JTB（昔は日本交通公社）の大判です。

時刻表って、JRのダイヤだけでなく、私鉄や航空（国内外とも）ダイヤや、高速バスのダイヤなども載っています。ダイヤ以外にも、路線図や運賃表、割りきっぷ、車両や座席の編成やトピックスなど山盛り満載です。時刻表を買った日はウキウキして、子どもがマンガを読みたがる気分と一緒にです。意味なくページをめくって眺めています。

趣味としてだけではなく、実用書としても重宝しています。岩手県立胆沢病院のパス大会に出た翌朝に当院のパス研修に出るにはどうしたらいいか、熊本医療センターのセミナーに日帰りするにはどうしたらいいか、福井から青森県立中央病院に行って佐久総合病院を経由して戻ってくるにはどうしたらいいかなど、インターネットには頼らずにJR・飛行機・高速バスなどを駆使して計画を立てます。ハブニングへの対応も時刻表は頼りになります。JRで秋田

大学病院に行こう
 と思っていたが雪
 で不通になった時
 にどうしたか、JR
 で米原・東京・長野・
 金沢を一周する予
 定だったが雪で不
 通になって途中で
 取りやめるときど
 うしたか、等々書き
 出したらきりがあ
 りません。



勝尾信一 先生

それから、JR 在来線の特急で直接目的地に行くより1 駅手前から新幹線に乗った方がお得とか、同じ特急や新幹線でも乗り心地の違う車両で行った方が楽とか、JR と飛行機を乗り継ぐにはどの空港を使うのが便利とか、半日時間が空いたので定期観光バスに乗ってみようとか、地元で有名な駅弁は何か、こうやって書き出しているだけで楽しくなってきました。あー、支離滅裂になってきました。全くもって、オタクの世界ですね。

もしかしたら、この展開ってパスの世界と同じ？いろいろな移動方法からベストを探し（いろいろな情報をもとにパスを作り）、ハブニングが起こっても対応し（バリエーションに対応し）、おまけの情報をうまく利用して（個別性に上手に対応して）、旅先で多くの人と触れ合う（いろいろな病院のいろいろな職種の方と知り合う）。でも、そのまま進むとパスオタクと見られるようになる？いやいや、パスは

趣味ではなく、ツールですが学問へ進化を遂げようとしています。そうすればオタクではなく研究者です。ご安心ください。

今回は、山形で地域連携に取り組んでおられる三原一郎・美雪ご夫妻をお願いします。

※言葉の説明（正式な定義ではなく私の解釈です）

録り鉄：列車の走行音や駅・車内のアナウンスを録音する

車両鉄：車両の特徴や編成などを熟知している

(蒐)集鉄：切符や車両・鉄道関係の部品のコレクション

音 鉄：録り鉄とは異なり、録音せずに聞くだけ

模型鉄：鉄道模型をこよなく愛する

駅弁鉄：各地の駅弁を食べ歩く

スジ鉄：鉄道のダイヤグラム（グラフ状になっているもの）を見て楽しむ

盗り鉄：鉄道関係のアイテムを盗む、これは犯罪です

葬式鉄：廃線や最後の列車などの時だけに現れる

仮想鉄：自分で路線や鉄道会社を仮想する

事務局より

第14回 日本クリニカルパス学会学術集会

会 期：2013年11月1日（金）、2日（土）

会 場：マリオス【盛岡市民文化ホール・盛岡地域交流センター】（盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号）

アイーナ【いわて県民情報交流センター】（盛岡市盛岡駅西通一丁目7番1号）

テーマ：『患者中心の医療の展開』

会 長：北村道彦（岩手県立中部病院 院長）

参加登録募集期間：平成25年5月1日（水）～9月30日（月）（予定）

演題募集期間：平成25年5月17日（金）～7月1日（月）（予定）

プログラム：特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、プレコン
gressワークショップ、一般発表、ランチョンセミナー、パス展示など

※学術集会の詳細に関しては、<http://square.umin.ac.jp/jscp14> をご覧ください。

2013年度 クリニカルパス教育セミナー

『クリニカルパスを役立てよう！広めよう！～実践ノウハウ～2013』

【東京会場】

会 期：2013年7月6日（土）13：00～17：00

会 場：一橋大学 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階）

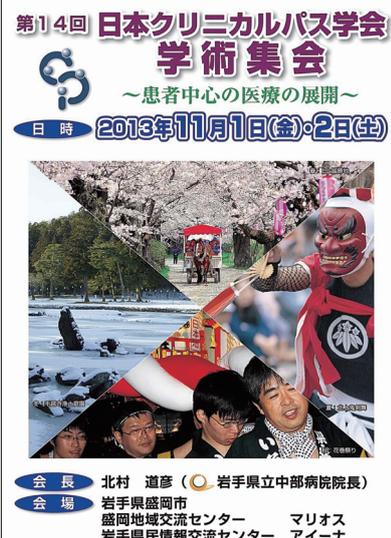
【大阪会場】

会 期：2013年7月20日（土）13：00～17：00

会 場：ドーンセンター（大阪府大阪市中央区大手町 1-3-49）

参加申込：4月1日より受付を開始します。学会ホームページ（<http://www.jscp.gr.jp>）からオンラインにて登録してください。

詳細は学会ホームページをご覧ください。



第14回 日本クリニカルパス学会
学術集会
～患者中心の医療の展開～
日時 2013年11月1日(金)・2日(土)

会長 北村 道彦 (岩手県立中部病院院長)
会場 岩手県盛岡市
盛岡地域交流センター マリオス
岩手県民情報交流センター アイーナ